

群弓連だより

120号

令和2年3月

群馬県弓道連盟

発行人 飯塚 勝亮

令和元年度を振り返って

群馬県弓道連盟 会長 飯塚 勝亮

令和元年会長代行として地方審査会、連合審査会、県選手権大会を実施、6月29日会長に就任以来各事業を実施してまいりました。何分初めての事で当初戸惑うことばかりでしたが無事執行できましたのも役員・会員皆様のお力添えの賜物と感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、何といても第74回国体に於いて少年女子が遠的2位、近的7位入賞により皇后杯6位入賞と言う輝かしい成績を収めたことが挙げられます。さらに、8月実施の第16回全国中学生弓道大会では史上初の男子団体3位入賞、第64回インターハイ弓道競技男子個人では2年連続の3位に入賞を果たし、12月実施の第38回全国高等学校弓道選抜大会では女子個人2位、男子団体3位に其々入賞し開催県の面目を施しました。中学生・高校生の活躍によって、全弓連「令和元年度優秀地連得点」の15位(51点)という好成績を収めることができました。

また、会長としての県外活動を行って改めて群馬県弓道連盟の現状を考えさせられました。各県連は外部から見ると各種競技会・大会の参加者を通して、各県連の「弓道」への取組み方が現れるように思います。群馬県弓道連盟は創立70周年を迎え新たな令和の時代に飛躍するために模索と改革を推進し、2028年第83回群馬国体に向けて「弓道」へ真摯に取り組まなければならないと考えます。元より連盟は会員を基礎とし会員の為の運営が求められますが併せて県連の顔とも言える県外活動に派遣される選手・役員が県連としての評価を受けるということを認識する必要があります。真剣に弓道に向き合い修練を重ねる中に迷わず試合に臨み、試合である以上勝ちに拘った取組みが求められます。中学生・高校生諸君の活躍に負けぬよう会員諸兄の奮起を期待し、連盟としての役割が十分に果たせるよう運営に鋭意努力することをお約束して寄稿いたします。



平成元年度を振り返って	・・・	インターハイの報告	・・・ 6
大島範士よりご寄付を賜りました	・・・ 2	全国高校選抜大会が群馬で開催されました	・・・ 7
全国中学生弓道大会の報告	・・・ 2	高校部会より	・・・
国民体育大会の報告	・・・ 5	編集後記	・・・

大島範士よりご寄付を賜りました

令和の新元号が発表されて、日本の歴史書からの元号に日本国中が未来の日本に希望を抱いた頃に、大島範士より群弓連に寄付の申し出がありました。

使い道は群弓連のためにお使いくださいとのことでしたので、用途について理事会で検討した結果、大島範士が残された本県の弓道振興への大きな功績を後世に伝えるため、『大島杯』を新たに設け、秋季大会の個人優勝者に授与することで顕彰することになりました。また事業運営をサポートするパソコンの買い替えもおこない有効活用させていただいております。

令和元年7月13日に開催された称号者講習会において、大島範士のご厚意に対して、群馬県弓道連盟会長より感謝状をお送りさせていただきました。

春季大会の齋藤杯と秋季大会の大島杯の争奪を目標に射技射法の研鑽に努めたいと思います。誠にありがとうございました。



↑ 感謝状贈呈式



← 寄贈のPC

***** ジュニア部会からの報告 *****

*****第16回全国中学生弓道大会 男子団体第三位の快挙！*****

群馬県の中学生初快挙です。これらの選手は、各支部の先生方にご指導・育成いただいた選手です。群馬県からは、他に女子団体戦・男女個人戦に出場しました。善戦むなしく予選敗退しましたが間違いなく全国レベルに到達してきました。

ジュニア部会は、各支部の先生方に選出して頂いた選手を、月2回（第2・4土曜日）一同に会して、



連帯感と競技力、競争心の向上を図るべく、強化練習を行っております。

全国大会に出場する選手は、公平、公明に行なう為、強化練習、1年間の的中率、県大会（春季・秋季・関東連の3大会）の的中率等を基に、ジュニア部会設定の全国大会選手選考基準に照合して、総合評価を行います。その結果、上位男女各5名の選手を選出し公表します。

選出された選手と他の参加者も含め、6月に強化合宿を行い、意識、団結力の向上を図り本大会に臨みます。

その努力が今回の快挙を成し遂げてくれたと思います。

今後も、選手達が伸び伸びと練習が出来る、良い環境を作り専念し、益々躍進するように頑張りますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

大勢の応援有難うございました。

ジュニア部会長 雨宮 巧

第16回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会

期日 令和元年8月17日(土)・18日(日)

会場 全日本弓道連盟中央道場/明治神宮武道場至誠館弓道場

出場選手

男子団体

葉山 青波(伊勢崎市立あずま中学校3年・あずま)

藤井 飛翠(伊勢崎市立第三中学校3年・伊勢崎)

佐々木 北翔(太田市立藪塚本町中学校2年・太田)

唐澤 大樹(伊勢崎市立あずま中学校2年・あずま)

女子団体

長谷 優花(太田市立旭中学校3年・太田)

宮内 祥帆(共愛学園中学校3年)

林 莉緒(吉岡町立吉岡中学校3年・北群馬)

櫻井 葵衣(共愛学園中学校3年)

男子個人

高木 爽任(富岡市立富岡東中学校3年・富岡)

女子個人

吉川 翠華(明照学園 樹徳中学校3年・太田)

成績>>>男子団体・予選<<<

選手名	予選1回目	予選2回目	計	合計	競射	結果
1 藤井 飛翠	× × ○ ○	○ × ○ ○	5	11	○ × ×	決勝 進出
2 佐々木 北翔	× × × ×		0		× × ×	
3 葉山 青波	× ○ ○ ○	× × × ×	3		○ × ×	
4 唐澤 大樹		× ○ ○ ○	3		× × ×	
	5		6		2	

決勝トーナメントは16チーム選出。残り2枠をかけて、11中の6チームによる競射を行った結果、2中が2チームとなり、群馬県勢の決勝トーナメント進出決定。

成績>>>男子団体・決勝トーナメント<<<

選手名	1回戦第2試合	計	合計	競射	相手チーム
1 藤井 飛翠	○ ○ ○ ×	5	9	× × ×	加治木中学校 (鹿児島) 計7中 《群馬の勝利》
4 唐澤 大樹	○ ○ × ○	3		× × ×	
3 葉山 青波	○ ○ × ○	3		× × ×	
2 佐々木 北翔				× × ×	
	9				

選手名	2回戦第1試合	計	合計	競射	相手チーム
1 藤井 飛翠	× × ○ ○	2	8	× × ×	下関中等教育学校 (山口県) 計6中 《群馬の勝利》
4 唐澤 大樹	○ × ○ ×	2		× × ×	
3 葉山 青波	○ ○ ○ ○	4		× × ×	
2 佐々木 北翔				× × ×	
	9				

選手名	準決勝	計	合計	競射	相手チーム
1 藤井 飛翠	○ ○ × ×	2	4	× × ×	東海南中学校 (茨城県) 計9中 《茨城の勝利》
4 唐澤 大樹	× × × ×	0		× × ×	
3 葉山 青波	○ × ○ ×	2		× × ×	
2 佐々木 北翔				× × ×	
	4				

群馬県の第三位が決定。群馬県勢の団体入賞は史上初。

成績>>>女子団体・予選<<<

選手名		予選1回目				予選二回目				計	合計	競射			結果
1	長谷 優花	○	×	○	×	×	○	○	×	4	7		×	×	予選 敗退
2	宮内 祥帆	×	×	○	×	×	○	×	×	2			×	×	
3	林 莉緒	×	×	×	×					0			×	×	
4	櫻井 葵衣					×	×	×	○	1			×	×	
		3				4									

成績>>>男子個人・予選<<<

選手名	予選1回目				予選二回目				計	合計	結果
高木 爽任	○	○	×	○	○	×	×	×	4	4	予選敗退

成績>>>女子個人・予選<<<

選手名	予選1回目				予選二回目				計	合計	結果
吉川 翠華	×	○	×	○	×	○	×	○	4	4	順位決定戦へ

5中者以上が7名のため、4中者7名による8位決定遠近競射へと進むも順位無しに終る。

◇◇◇◇入賞者の言葉◇◇◇◇

佐々木 北翔

全国大会の気迫を感じることができ、背筋が伸びる思いでした。先生や先輩方にならい、これからも精進していきたいと思えます

藤井 飛翠

このメンバーで力を合わせて3位となることが出来ました。道場で何時も気にかけて教えてくださり、ずっと傍で信じて支えてくれた先生方、見守ってくれた母、素晴らしい道具や伝統工芸をつくり伝える職人さん達も僕の一部でした。

高校生になっても更に自分を高め、次は国体選手に選ばれる様に自分を磨き、鍛えて行きたいです。前へ前へと頑張れば結果を出せることを学びました。支えてくださった皆様に少しでも恩返し出来る様にもっと弓道に取り組んでいきます。

唐澤 大樹

去年の全中の準決勝で皆抜してしまったので今年はその悔しさを果たしたいです。また、3年になり、皆を引っ張っていく年になるので見本になれるように練習や礼儀など日々の生活の面もちゃんとしていきたいです。

葉山 青波

今回の大会で入賞することが出来、とても嬉しく思います。そして、それを支えてくれた仲間や周りの方には感謝の気持ちでいっぱいです。高校ではバラバラになってしまいましたが、人として、選手として、成長出来るよう精進したいと思います。



***** 高校部会からの報告 *****

*****第74回国民体育大会 少年女子近的7位・遠的準優勝！！*****

国民体育大会関東ブロック大会において本県少年女子が近的1位遠的1位総合順位1位という記録で国民体育大会出場への切符を手に入りました。

近的、遠的ともに1位でブロック大会を通過したのは私の記憶ではありません。今回は関東1位としてのプライドを持ち、10月に開催された国民体育大会に出場しました。今年の国体の会場は茨城県水戸市ということで、大会会場までも近く、今年度の関東大会の大会会場でもあり、本県にとっては有利な条件だったかもしれません。

大会結果は、遠的競技では1点差で準優勝、近的競技では7位に入賞しました。近的競技遠的競技の両競技に入賞することができ、皇后杯6位の栄光を手に入れました。



群馬県少年女子選手団

高校部会長 高橋 将

令和元年度 第74回国民体育大会

期 日 令和元年10月4日(金)～7日(月)

会 場 茨城県水戸市堀原運動公園武道館弓道場

成 績

○少年女子近的

予選 合計17中 第3位で予選通過

松井 桃葉 (四ツ葉3年) ×○○○ ×○○○ 計6中

武井由里菜 (尾 瀬3年) ○○×○ ○○×○ 計6中

平野なな星 (市前橋3年) ○○×× ○○×○ 計5中

決勝トーナメント

1回戦 第一試合 群馬5中 対 静岡10中 (群馬は5～8位決定戦へ)

松井 桃葉 ×○○× 2中

武井由里菜 ××○× 1中

平野なな星 ×○×○ 2中

5～8位決定戦 計3中 (鹿児島・岩手・群馬が3中、奈良が4中で5位)

松井 ○× ・ 武井 ○× ・ 平野 ×○

6～8位決定戦 計2中—第7位 (鹿児島3中—第6位・岩手1中—第8位)

松井 ○ ・ 武井 ○ ・ 平野 ×

第7位入賞 (群馬県チームの国体近的入賞は平成26年度の女子以来5年ぶり)

○少年女子遠的

予選 合計134点 第2位で予選通過

松井 桃葉 9・0・3・3 3・10・0・7 計35点

武井由里菜 5・0・9・9 3・9・7・5 計47点

平野なな星 5・0・9・9 7・7・0・5 計52点

決勝トーナメント

1回戦 54点 — 31点 宮崎 準決勝進出

松井 桃葉 5・10・0・0 15点

武井由里菜 0・7・3・0 10点

平野なな星 9・5・5・10 29点

準決勝 計58点 — 42点 愛媛 決勝進出

松井 桃葉 0・5・7・5 17点

武井由里菜 7・10・0・10 27点

平野なな星 0・7・0・7 14点

決勝 計52点 - 53点 鹿児島 準優勝

松井 桃葉 9・7・3・7 26点

武井由里菜 5・5・3・3 16点

平野なな星 0・0・3・7 10点

(群馬県チームの国体遠的入賞は平成26年度の女子以来5年ぶり)

◇◇◇◇入賞者の言葉◇◇◇◇

①松井桃葉

今回は本国体に出場し、近的七位、遠的二位入賞をすることができとても嬉しく思っております。このような結果を残せたのはチームの仲間との深い信頼関係を築けたから、そして監督である山崎先生をはじめ、江原先生、福田先生のご指導のおかげです。また、たくさんの方に応援して頂きとても励みになりました。本当にありがとうございました。

②武井由里菜

それぞれ違う高校でチームを組むことになって、最初はとても不安でしたが、すぐに打ち解けることができ、練習を重ねるごとにチーム力も上がっていったと思います。試合では緊張もしましたが、早く引きたいと思うほどすごく楽しかったです。遠的では1点差で負けてしまい、あと少しで日本一になれたと考えるとすごく悔しい結果でした。最初不安に思っていたチームは今では最高のチームになることができました。国体で経験したことを今後活かして頑張っていきます。

③平野なな星

今回の国体では多くの方の支えや応援があり、辛い練習を乗り越え、結果を残せました。試合内容は自分の実力不足があり、満足できません。お世話になった方々に恩返しできるよう、この悔しさをバネに、より一層努力したいです。

***** 第64回インターハイ 男子個人第3位 *****

今年度は全国の大半の竹弓を製造し、「弓の聖地」とも称される都城市においてインターハイが開催されました。会場はアリーナで、選手は快適な環境のなか競技することができ、観客席も十分確保され、すばらしい大会会場でした。

本県の結果は、女子団体で前橋市立前橋高等学校が予選を通過し、決勝トーナメント1回戦を勝ち抜きました。惜しくも2回戦で敗退し、ベスト16と入賞まであと少しでした。

男子個人では群馬県立伊勢崎工業高校の金光陸斗が予選、準決勝ともに皆中で決勝に進出しました。決勝の射詰競射でも4連続的中させましたが、5本目の八寸的を惜しくも外し5名による3位～7位決定の遠近競射に進出しました。遠近競射では5名の中でも一番上位の3位を勝ち取りました。これにより本県より4年連続のインターハイ入賞者を出すことができました。



男子個人3位
金光選手(伊勢崎工業)

高校部会長 高橋将

令和元年度 第64回インターハイ

期 日 令和元年8月7日(水)～10日(土)

会 場 宮崎県都城市早水公園体育文化センター特設弓道場

成 績

○男子個人 (インターハイでの男子個人入賞は2年連続)

金光 陸斗(伊 工3年) 予選○○○○ 準決勝○○○○ 決勝○○○○×

決勝5本目からは八寸的 第3位～7位決定の遠近競射に進出 第3位入賞

◇◇◇◇入賞者の言葉◇◇◇◇

○男子個人3位—金光 陸斗(群馬県立伊勢崎工業高等学校)

自分はこの度の令和元年度のインターハイで個人3位という結果を残すことができました。

今後は大学へ進学し、弓道を続けます。そして、8年後にある群馬国体に向けて技術を磨きたいと思っています。

***** 第38回全国高等学校弓道選抜大会が群馬県で開催されました *****



大会競技会場
写真提供：(公財) 全日本弓道連盟

平成29年10月に第38回全国高等学校弓道選抜大会の開催通知が全日本弓道連盟より届き、本県では初の全国選抜大会開催が決定いたしました。その年の12月に当時の会長の鈴木康弘先生と滋賀大会を、次の年には前会長の金井喜四男先生と岡山大会を視察し、準備を進めてきました。

様々な課題が山積しておりましたが、皆様のご協力により令和元年12月23日(月)～25日(水)の3日間、ALSOKぐんまアリーナにおいて第38回全国高等学校弓道選抜大会を無事開催することができました。大会は各都道府県の厳しい予選を勝ち抜いてきた選手によりレベル

の高い競技が繰り広げられ、競技状況はインターネットでライブ中継されました。中継された動画は現在も録画配信されておりますので右のQRコードよりぜひご覧ください。

本県の選手では、開会式において歓迎の言葉を述べた前橋商業高校の今井南選手が女子個人で準優勝となりました。開会式で選手宣誓をした川和大气選手がいる前橋市立前橋高校が男子団体で第3位入賞となりました。開催県の学校が、団体・個人ともに入賞することができ、大いに盛り上がりました。

最後になりますが、本大会の開催に当たり、群馬県弓道連盟の皆様、大変お世話になりましたことを、この場を借りてお礼申し上げます。



競技録画配信

高校部会長 高橋将

***** !! 男子団体第3位 女子個人準優勝 !! *****

令和元年度 第38回全国高等学校弓道選抜大会

期 日 令和元年12月23日(月)～25日(水)

会 場 群馬県前橋市 ALSOKぐんまアリーナ特設弓道場

成 績

○男子団体

前橋市立前橋高校 予選 計9中 予選通過

吉田 勇 ○×○○3中 ・ 村山 子龍 ○×○× 2中 ・ 川和 大气 ○○○○ 4中

・男子決勝トーナメント

1回戦 市前橋 8 - 5 興南(沖縄)

準々決勝 市前橋 9 - 9 岐阜総合学園(岐阜)

競射 3-3, 3-3, 2-2, 3-3, 2-2, 3-2

準決勝 市前橋 7 - 10 芦花(東京)

前橋市立前橋高校は第3位入賞

○女子個人

今井 南(前商2年) 予選 ○○○× 3中 予選通過

準決勝 ×○○○ 3中 準決勝通過

決 勝 ○○○○×(決勝5本目からは八寸的) 第2位入賞

◇◇◇◇入賞者の言葉◇◇◇◇

○男子団体3位—前橋市立前橋高等学校

①吉田勇馬

出場が決まってからは、3人立坐射の練習をひたすら続けました。その結果、試合では、練習通りの体配と行射が行えたことで、3人の連携が最大限発揮できました。また、岐阜総合戦の競射が長く続いたこともあり、経験不足から、準決勝では切り替えがうまくいかず、集中力が切れてしまったことが、今後の自分の課題として感じました。

②村山子龍

一昨年・昨年と上級生の方々が夏のインターハイで団体3位入賞を遂げていることを憧れに、ひたすら中てることだけを意識して、練習に取り組んできました。そのおかげで本番では、頭は真っ白でしたが、体が動いてくれました。先輩たちと同じ順位になれたことは自信になり、大変嬉しいのですが、大会を通じて感じた自分の未熟さを克服するために、今後も修練を続けていこうと思います。

③川和太

日頃の練習で、「勝ち方は知らないが、負けにくい戦い方なら知っている」そう教えられ、試合に臨みました。そして、個人戦・団体戦共に、どんな時でも「楽しむ」という考えで、自分を集中させていました。その結果、6本続いた緊張感高まる競射も「まだ大丈夫」と自分に言い聞かせ、弓を引くことができ、自分自身にも克てたのだと思います。

○女子個人準優勝—今井 南（群馬県立前橋商業高等学校）

大会までは普段と変わらず、毎日弓を引くことを心がけ、安定して的中が出せるように、アドバイスしていただいたことを意識しながら練習に取り組みました。

予選・準決勝は点数で表すなら射は20点、的中は70点くらいです。早気が直らず、悪い癖が出てしまいました。決勝では呼吸と会への入り方を意識しました。いまひとつ上手く引けなかった射もありましたが、的中してくれて良かったです。

入賞できたことはうれしいのですが、日本一が手の届くところにあつたと思うと、悔しさも感じます。団体戦では思うような結果を残せなかったのが、来年度のインターハイでは個人・団体ともによい結果が残せるように頑張りたいです。

令和元年度 第63回関東高等学校弓道大会

期 日 令和元年 6月 7日（金）～6月 9日（日）

会 場 茨城県水戸市茨城県武道館弓道場

成 績

○女子個人

大竹 麗（前商） 8射7中（5人） 3～7位決定のための遠近競射に進出 第7位

令和元年度 第74回国民体育大会 関東ブロック大会

期 日 令和元年 8月 24日（土）～25日（日）

会 場 千葉県総合スポーツセンター弓道場

成 績

○少年女子

選手：松井桃葉（四ツ葉3年）・武井由里菜（尾瀬3年）・平野なな星（市前橋3年）

監督：山崎慎一郎

近的 20中 千葉との競射 群馬2中 千葉1中 よって群馬1位（8点）

遠的 118点 群馬18中 1位（8点）

総合 16点 1位（本大会出場）

令和元年度 第38回 関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

期 日 令和元年 9月 7日（土）～ 8日（日）

会 場 明治神宮至誠館第二弓道場

成 績

○女子個人

小川 貴子（太女2年） 予選×○○○3中 準決勝○○○○4中 決勝（射詰）○○×
6～8位決定の遠近競射に進出 第6位入賞

編集後記

群弓連だより第120号をお届けいたします。

編集中は新型コロナウイルス感染が終息する気配はなく、新年度の行事見通しもまったく不明の暗鬱とした気分でした。皆様の手元にだよりが届く頃には、明るい春の陽射しが輝く日々になってほしいと願います。

広報部会：齊藤 昌之、高木 正博、城代 富美江、稲葉 愛